

# 旧国鉄士幌線の文化遺産を活用したまちづくり

（北海道・上士幌町）

昭和62年の廃線以来、ひがし大雪の懷で静かに眠っていた士幌線のアーチ橋梁群は、平成9年の旧国鉄清算事業団の解散に伴い解体の危機を迎えました。この話を聞いて上士幌町民が中心となって約1年にわたりアーチ橋の保存活動を展開した結果、平成10年に上士幌町が旧国鉄清算事業団から34のアーチ橋と線路跡を取得する事になり、アーチ橋は解体の危機から免れることになりました。その後、平成11年に保存活動を行った町民が中心となって「ひがし大雪アーチ橋友の会」を立ち上げ、橋梁の日常管理やフォーラムの開催、鉄路の再現、鉄道資料館の運営などを行っています。

これまでの地道な活動により、5つのアーチ橋と1つのトンネルが国の登録有形文化財に指定されている他、士幌線関連遺産が経済産業省「近代化産業遺産群続33」に、アーチ橋梁群は「北海道遺産」に認定されています。また、一部のアーチ橋は企業のポスター等に採用されるなど、その知名度は全国区となり、再現した線路を利用し運行しているトロッコ列車と共に地元温泉街の重要な観光資源となっています。また、アーチ橋梁等は鉄道とともに歩んできた上士幌町の歴史教育の場として利用されています。



鉄路を再現して運行しているトロッコ列車



保存活動10周年を記念してシンポジウムを開催



第三音更川橋梁等は有形登録文化財、北海道遺産に指定されています。



アーチ橋梁群を巡る遠足、ウォーキング大会等が実施されており、地元の観光資源となっています。

## 活動主体

NPO法人ひがし大雪アーチ橋友の会  
河東郡上士幌町上士幌東3線239番地  
TEL:01564-2-3385

<http://www3.ocn.ne.jp/~arch/>

